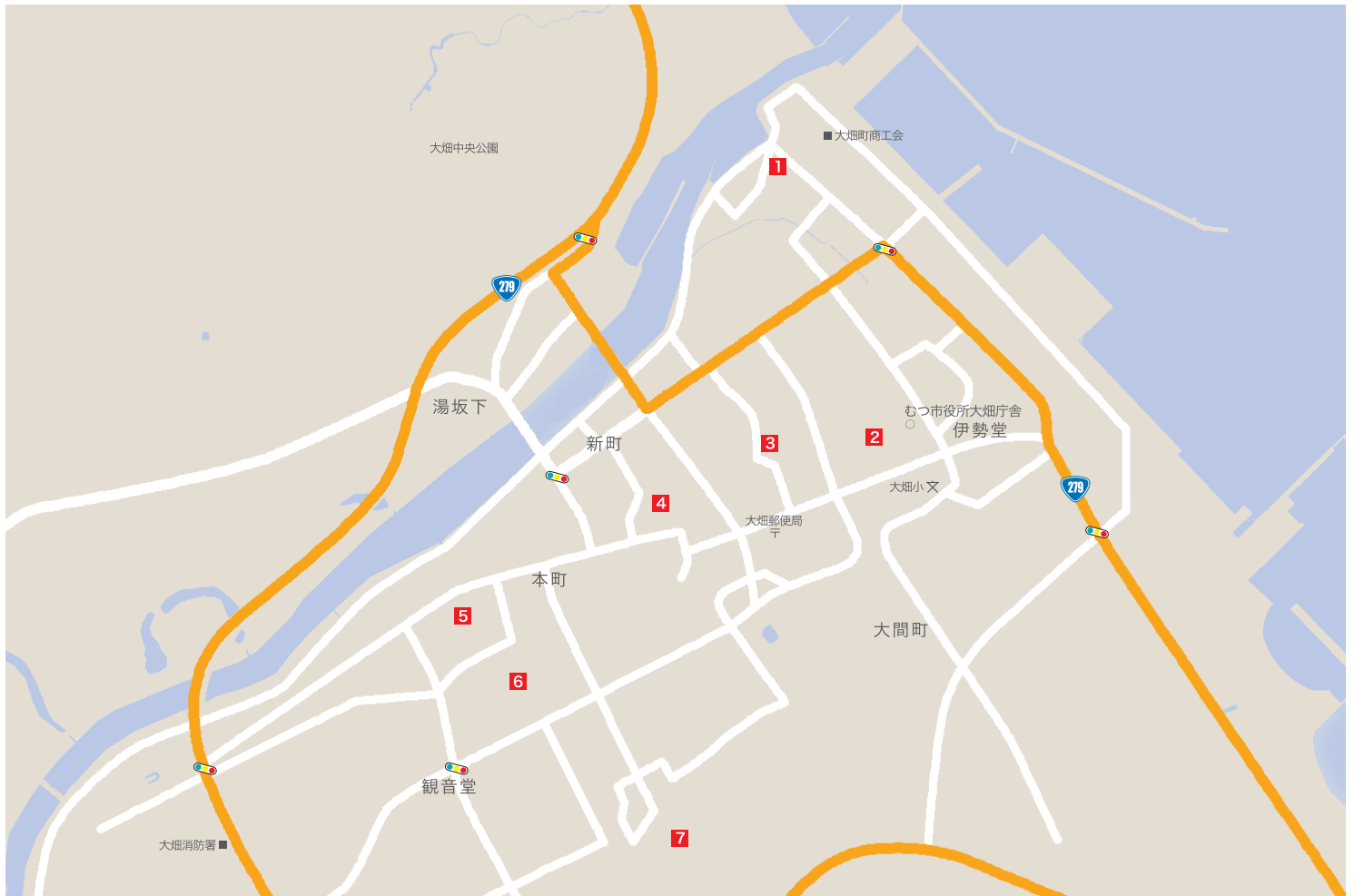


# むつ市（大畑）



## 1 春日神社 むつ市大畑



大畑八幡宮の例大祭のときに神輿が一夜を過ごす神社。大畑川河口に位置し、海上安全祈願所であるとともに、大畑代官所の祈願所でもあった。

## 2 笹沢魯羊記念資料室 むつ市大畑

笹沢魯羊は明治18年八戸に生まれ、県内三郡の有力紙の記者を経験後、下北一円の郷土史に精力的に取り組んだ。各村誌や町誌、『下北半島史』、『宇曾利百話』等、すぐれた地方史の出版・編集に対する多くの褒賞を受賞。遺族からの寄贈資料により大畑公民館に「魯羊文庫」が設置されている。



## 3 本門寺 むつ市大畑

本門寺の堂宇は1704(宝永元)年大坂の廻船問屋天王寺屋弥右衛門によって、建立・寄進された。山門脇には、天明飢饉の供養塔がある。

## 4 正教寺 むつ市大畑

石垣の寺ともよばれ、山門の両側に1789(寛政元)年、1792年、1803年の3度にわたり築かれた高さ8尺(約2.4m)の石垣が続いている。

## 5 大畑八幡宮 むつ市大畑



最初は深山の地(大畑町湯坂下から薬研へ行く途中の大畑発祥の地とされているあたり)に祀られていたが、材木の搬出量が多くなるのにしたが、人家も本町・南町の方に形成されるようになり、慶安元年(1648)、深山より現在の社地に遷された。深山神社は、大畑八幡宮の奥の院とされています。また、享保10年(1725)、京都の吉田家より「宗源宣旨」の許状を授かってから、大畑八幡宮は「正一位八幡宮」といわれています。

## 6 心光寺 むつ市大畑

田名部海辺三十三観音第14番札所。本堂のかたわらに鎮座する延命地蔵は、1738(元文3)年に江戸で铸造されたものという。

## 7 大安寺 むつ市大畑

慶長19年(1614)大畑本町坪家出身の禅達という僧が、大安寺道に庵を結び、曹洞宗の教義を布教したのが発祥とされている。草創は、寛永11年(1634)で、開山は一東異寅。伝承によれば、七戸城主七戸隼人(後の盛岡藩4代藩主南部重信)に拝謁し、境内地、田地、山林を賜ったといわれている。



例大祭(大畑まつり)は9月14日～16日まで毎年行われる、大畑地区最大の祭りです。享保3年(1718)から伝えられていると言われ、京都祇園祭の流れを汲んでいます。神輿、山車、神楽、能舞などの行列が町内を巡回し、町は賑やかな雰囲気で大盛り上がりします。(県無形民俗文化財)